

2020年度防災訓練における問題点に対する 改善策の検証状況（4月末現在）について



日本原燃株式会社

(空白ページ)

1. はじめに



- 2020年度原子力防災訓練では、特に規制庁ERCプラント班との情報共有について、多くの問題が発生。
- これに対してあるべき姿とのギャップ分析を実施し、問題点の抽出、原因の分析および改善策（短期・中長期）を整理。
- 現在、下記短期目標に向けて、個別訓練による検証のスケジュールに基づき、確実にPDCAを回しながら、改善策の有効性の検証を進めているところ。

短期目標

ERCプラント班との間で、あらかじめ整備した情報フローに基づき、情報共有のためのツール等を活用して、事故・プラントの状況、進展予測と事故収束対応戦略、戦略の進捗状況およびEAL判断根拠について、タイムリーに、かつ、確実に情報共有が出来る。

- 本日は、2021年4月末現在の検証状況を報告。

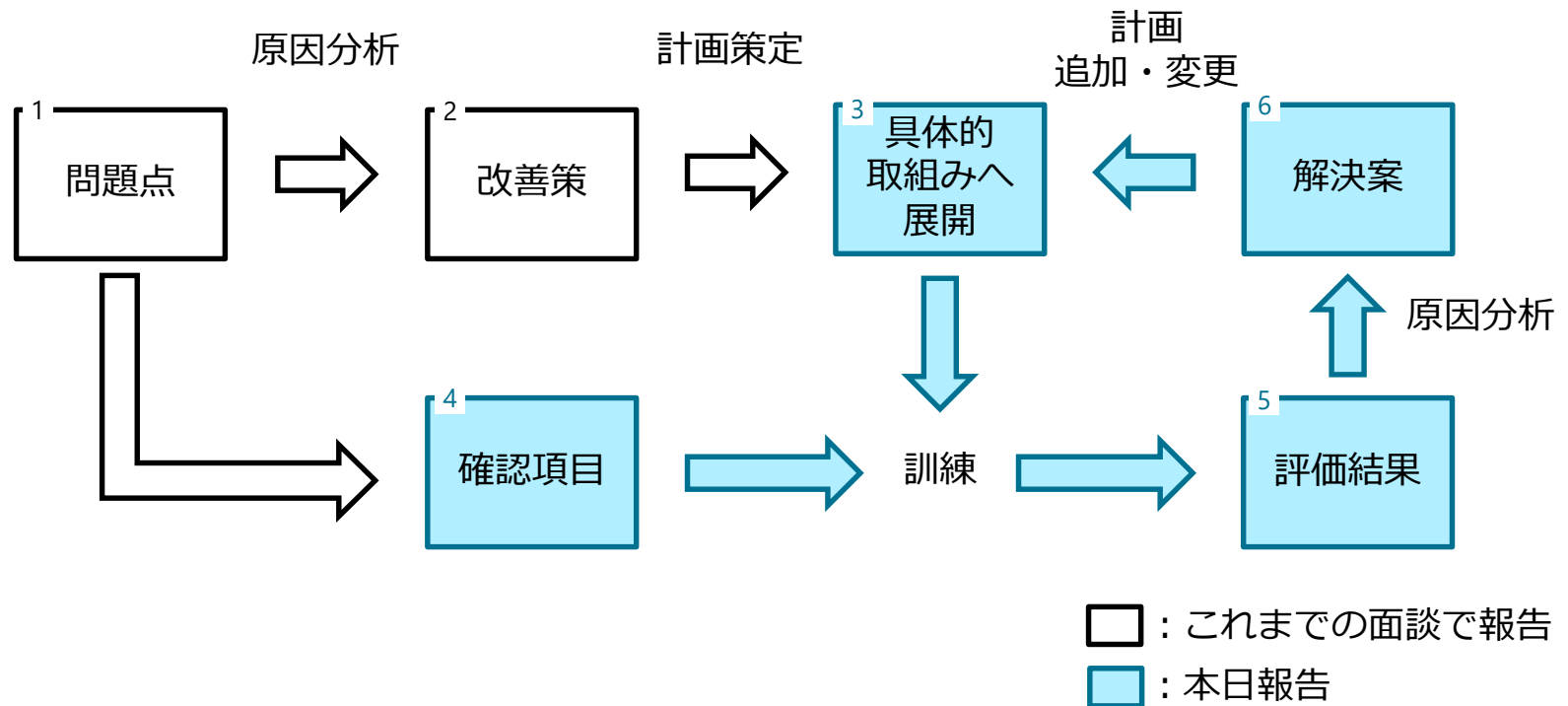
(参考1) ギャップ分析に基づく改善策



- ① マニュアルを見直し、ERC対応ブース内の役割分担を具体的に定めるとともに、教育および訓練により認識を共有する。【短期】
- ② 10条確認会議・15条認定会議の対応者とは別に、ERC統括者を選任する。【短期】
- ③ ERCプラント班と共有する情報の優先順位について、ERC対応者と補助者との認識の共有を図る。【短期】
- ④ 再処理事業部対策本部において、COP・戦略シートを活用して情報共有、対策等を検討することを対策本部内で徹底する。また、COP更新の重要性をガイドラインに明記し、教育・訓練にて定着を図る。【短期】
- ⑤ COP、ERC備付け資料を、説明に使いやすい内容に見直す。【短期】
- ⑥ 具体的な検証方法、訓練事務局とは異なる検証者を定め、改善を図る余裕を確保した工程の中で個別訓練を繰り返し実施することで、改善策の有効性を検証する。また、訓練事務局の要員を強化する。
【具体的な検証方法の策定、訓練事務局の要員強化：短期、その他：中長期】
- ⑦ ERC対応者に必要な力量をマニュアルに具体的に定めるとともに、適任者を選任し、育成する。【中長期】

2. 検証方針

- ERCプラント班との情報共有に係る目標の達成状況を検証するため、訓練実施ごとにNRA訓練評価指標のうち、「情報共有・通報」（指標No.1～4）に係る確認項目を定め、自己評価を実施。
- 評価にあたっての具体的な確認項目は、2020年度防災訓練時に発生した問題点、またはその原因から設定。



3.改善策取組みの現状

3-1. 訓練実績



訓練内容	4月6日	4月23日
訓練参加範囲	●事業部対策本部 ●ERC対応ブース	左記に加え、 ●全社対策本部事務局 ●ERCリエゾン
事象の複雑さ	単独事象	●複数事象 ●火災・負傷者の発生
シナリオ提示/非提示	提示	提示
評価者	社内	社内

4月6日訓練に先立って、再処理事業部内で個別訓練等を実施。

- 2021年2月18日 第1回事業部自主訓練（4月6日訓練と同等の事象想定で実施。対策案の有効性確認）
- 2021年3月17日～31日 勉強会（COP見直し、電子共有化検討、ERC対応要員の再検討、他。）
- 2021年4月2日 第2回事業部自主訓練（上記対策の有効性を確認および要員の習熟を実施。）

3. 改善策取組みの現状

3-2. (指標No. 1) 情報共有のための情報フロー(1/2)



1. 問題点	2. 改善策	3. 具体的取組み状況
<ul style="list-style-type: none">● 情報共有のための情報フローは作成したが、即応センターは、各要員が果たすべき役割が正しく認識されておらず、役割が果たせていない。	<ul style="list-style-type: none">① マニュアルを見直し、ERC対応ブース内の役割分担を具体的に定めるとともに、教育および訓練により認識を共有する。	<ul style="list-style-type: none">● 事業部連絡員到着の前後に分けて具体的な役割分担を定めるとともに、情報フローを作成した。(参考5) (情報発信の優先度に関する取組みは3-3.に記載) (COPのタイムリーな提供に関する取組みは3-4.に記載)● 見直した役割分担に基づく教育および訓練を1月26日以降8回実施し、認識の共有を図った。
	<ul style="list-style-type: none">② 10条確認会議・15条認定会議の対応者とは別に、ERC統括者を選任する。	<ul style="list-style-type: none">● 10条確認会議・15条認定会議の対応者が「ERC対応ブース全体の仕切り」、「ERC対応者が本筋から外れた説明をした際の修正・フォロー」についても実施することとしていたが、これをERC統括者(全社)が実施することとした。(参考5) (優先順位の判断に関する取組みは3-3.に記載)

3. 改善策取組みの現状

3-2. (指標No. 1) 情報共有のための情報フロー(2/2)



4. 確認項目	5. 現状評価	6. 今後の取組み（解決案）
<p>マニュアル（情報フロー）における各担当者の役割分担は明確か。</p>	<p>△ マニュアル（情報フロー）改正案を作成できている。ただし、どのタイミングのCOPを用いてERCプラント班に説明するかについて、判断者が明確でない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● どのタイミングのCOPを用いてERCプラント班に説明するかについて、ERC対応説明補助者の役割として明記する。
<p>各担当者はマニュアル（情報フロー）に定められた役割が実施できているか。</p>	<p>△ 役割の認識が不足している者の割合がまだ大きい。役割の改善変更を訓練の都度実施していることも一因と推測。4月23日訓練後のアンケート実施結果は以下のとおり。</p> <p>Q. 役割分担表および情報フローに記載されている自らの役割について、認識したうえで訓練に臨むことができましたか。</p> <p>A. 認識できていた: 73% <u>一部認識できていなかった</u>: 27% ほとんど認識できていなかった: 0%</p> <p>Q. 訓練時に自らの役割を十分に果たすことができたと考えますか。</p> <p>A. 十分に果たすことができた: 50% 果たせたが課題があった: 43% ほとんど果たせなかった: 0% (シナリオ上役割がなかった: 7%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 役割の認識が不足していると思われる者には個別の打合せ等でフォローする。 ● 役割が認識できているものの、十分に果たすことができなかった者については、訓練を通じて習熟を図っていく。

(○：概ね良好、△：一部課題あり、×：要改善)

3. 改善策取組みの現状

3-3. (指標No. 2) ERCプラント班との情報共有 (1/2)



1. 問題点	2. 改善策	3. 具体的取組み状況
<ul style="list-style-type: none">● 即応センターは、同時発災において、施設全体の状況を俯瞰した説明ができていない。● 即応センターは、EAL事象については速やかに情報共有できたが、その他の重要事象について、他の説明に集中し、ERCプラント班に速やかに提供できない事例があった。	<ul style="list-style-type: none">① マニュアルを見直し、ERC対応ブース内の役割分担を具体的に定めるとともに、教育および訓練により認識を共有する。② 10条確認会議・15条認定会議の対応者とは別に、ERC統括者を選任する。	<ul style="list-style-type: none">● 事業部連絡員到着前は、それぞれ1名のERC対応者および補助者が全施設を担当することとしていたが、「全社・再処理」担当と「濃縮・埋設」担当のそれぞれ2名（計4名）体制とし、情報整理のための余裕を確保した。（参考5）● ERC統括者を新たに選任し、「情報発信の優先度」に基づく施設全体の情報を俯瞰した説明を実施するため「ERCプラント班への説明の優先順位の判断」を実施することを役割分担に明記した。（参考5）
<ul style="list-style-type: none">● 即応センターは、積極的な情報発信、簡潔な説明、ポイントをついた説明が不足した。● 即応センターは、重要情報の説明に追われ、相対的に重要度が低くなった全社取りまとめ情報を提供できていない。	<ul style="list-style-type: none">③ ERCプラント班と共有する情報の優先順位について、ERC対応者と補助者との認識の共有を図る。	<ul style="list-style-type: none">● 情報の種類毎に4段階（前回面談時：2段階）からなる「情報発信の優先度」を定め、重要度の高い情報をタイムリーかつ確実に説明するようにした。（参考2）（重要度の低い情報のリエゾン経由での提供は3-4.に記載）● 「情報発信の優先度」等の訓練前説明会を4月22日に開催、また実働訓練を4月23日に実施し、ERC対応者および補助者のみならず、ERC対応ブース内関係者全員に対し「情報発信の優先度」に関する認識の共有を図った。

3. 改善策取組みの現状

3-3. (指標No. 2) ERCプラント班との情報共有 (2/2)



4. 確認項目	5. 現状評価	6. 今後の取組み (解決案)
「情報発信の優先度」に基づきERCプラント班との情報共有がなされているか。	○ 4月23日の訓練では、「情報発信の優先度」に基づく時間内に情報共有がなされていた。(参考3)	● ERCプラント班との情報共有にあたり必要なCOP、備付け資料をあらかじめ整理するとともに、他社の情報共有方法も参考に、それぞれの場面で現状、進展予測および戦略を一体のものとして説明できるよう、習熟を図っていく。
ERC対応者は積極的に簡潔かつポイントについて(現状、進展予測および戦略について、ERCプラント班から逐一質問を受けることなく一体のものとして)情報共有できているか。	△ 4月23日の訓練では、現状、進展予測および戦略について、説明はできていたものの、ERCプラント班役から促されてから説明する場面が複数あった。	
ERC対応補助者は、情報を整理(COP、備付け資料にマーカ等)してERC対応者に渡しているか。	△ 4月23日の訓練では、当初説明に用いるCOPにマーカ等がないことにより、変更点の説明に詰まる場面があった。(中盤以降COPの変更点を赤字にしたため解消)	

(○ : 概ね良好、△ : 一部課題あり、× : 要改善)

(参考2) 情報発信の優先度

情報名		優先度	情報共有のタイミング
警戒事態、経過連絡 10条・15条通報 25条報告	警戒事態該当事象連絡	2	作成後（10分以内）
	10条・15条通報	1	速やかに(10分以内)
	25条報告	2	作成後（10分以内）
EAL判断 (通報基準)		1	EAL判断時 (10分以内)
モニタリングポストデータ	変化が無い場合	3	30分毎
	急な変化が確認された場合	2	発生時10分以内 以降10分毎
COP(設備状況)	大きな変化がない場合	3	30分毎
	電源喪失、漏えい、汚染、被ばく、外部への影響のおそれ、EAL判断に係るパラメータの欠測が発生した場合	2	確認してから10分以内
COP（進展予測）	EAL到達までの時間余裕を評価した場合および当初予測した進展状況に変化があった場合	2	評価・変化の都度（10分以内）
COP(戦略)	戦略策定時（対応が計画通り進捗しない等の理由で戦略を見直した場合を含む）および対応フローに目標時間を記載した対策の完了時	2	目標設定会議または対策完了の都度 (10分以内)
	戦略に基づく対策の進捗状況	3	30分毎
火災・傷病者情報	安全機能や重大事故対処に影響するおそれのある火災・意識不明等の重症（死亡を含む）	2	事象進展の都度(10分以内)
	上記以外の火災・骨折や捻挫等の発生・経過火災の鎮火が確認された場合	4	30分毎（集約報）

(参考3) 情報共有時間実績の比較

1. 蒸発乾固への対応

主要イベント	発生からDB貼り付けまでの時間	
	12月1日訓練	4月23日訓練
蒸発乾固対策の準備開始	44分	5分 (※)
KA建屋の蒸発乾固に係る 拡大防止対策 ・機器への注水開始	66分	3分 (※)

2. 燃料貯蔵プールの水位低下への対応

主要イベント	発生からDB貼り付けまでの時間	
	12月1日訓練	4月23日訓練
大型移送ポンプ車による スプレイ注水開始	43分	3分 (※)

※ERCプラント班(模擬)への説明(発話)もほぼ同時刻で実施。

3. 改善策取組みの現状

3-4. (指標No. 3) ツール等の活用 (1/2)



1. 問題点	2. 改善策	3. 具体的取組み状況
<ul style="list-style-type: none">●即応センターは、事故・プラントの状況、進展予測、対応戦略について、COP等準備資料を用い、不足、遅れなく情報提供できていない。●即応センターは、ERCプラント班に対し、COPや戦略シートをタイムリーに提出できていない。●即応センターは、ERCプラント班に対し、COP、戦略シートを使用した説明が徹底されていない。	<p>④再処理事業部対策本部において、COP・戦略シートを活用して情報共有、対策等を検討することを対策本部内で徹底する。また、COP更新の重要性をガイドラインに明記し、教育・訓練にて定着を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none">●COPの種類ごとに、作成者と更新のタイミングを示し、個別訓練を通じて、COPを情報共有、対策等の検討の中心として活用することの習熟を図っている。
<ul style="list-style-type: none">●COPが情報共有の必要なタイミングで更新されない、また更新しても最新の状況を反映できていない。●情報フローが上手く機能しなかった。(再処理)●AL到達・AL判断に係る活動の事業部対策本部への報告が遅れた。(再処理)	<p>⑤COP、ERC備付け資料を、説明に使いやすい内容に見直す。</p>	<p>(4月28日COP事前送付済み)</p> <ul style="list-style-type: none">●常時表示を行うCOP①(設備状況)について、記載内容の再検討を行い、EAL判断に係る重要な情報を中心に記載する構成に見直した。●COP③(戦略シート)に同時進行する重大事故対応の戦略フローや目標設定を共有する表示を追加した他、作業完了の目標時間の記載欄を設ける等の改善を実施した。●事業部対策本部で作成するCOPを即応センターのERC対応ブースにおいてリアルタイムで確認できるようにすることで、タイムリーな情報共有の仕組みを確立した。

3. 改善策取組みの現状

3-4. (指標No. 3) ツール等の活用 (2/2)



4. 確認項目	5. 現状評価	6. 今後の取組み (解決案)
ERCプラント班とCOPおよび備え付け資料を使用して現状、事象進展予測、対応戦略等の情報共有をしているか。	○ 4月23日の訓練では、ERCプラント班役とCOPおよび備え付け資料を使用して現状、事象進展予測、対応戦略等の情報共有ができていた。	● COPの作成、使用方法について個別訓練により有効性を確認したうえで、ガイドラインに反映予定。
ERC対応者は、初動・緊急情報について、備え付け資料（もしくはCOP）に書き込んで説明しているか。	○ 4月23日の訓練では、ERCプラント班役から促されて説明している場面もあったが、ERC対応者は備え付け資料に書き込んで説明できていた。	● リアルタイムで更新されるCOPの情報共有タイミングの判断について、習熟を図っていく。
COPは情報共有が必要なタイミング（「情報発信の優先度」に記載）で更新されているか。	○ 4月23日の訓練では、COPは情報共有が必要なタイミングで更新されていた。ただし、リアルタイムで更新することとしたことで、COPの情報共有タイミングの判断の重要性が浮き彫りとなった。	
COPは説明時に最新の状況を反映できているか。	○ 4月23日の訓練では、最新の状況を反映できていた。	
重要度が相対的に低い情報は集約してリエゾンから提供されているか。	○ 4月23日の訓練では、重要度が相対的に低い情報についてリエゾン経由で提供できていた。（ただし、時間余裕があったため、口頭説明も実施）	

(○：概ね良好、△：一部課題あり、×：要改善)

3. 改善策取組みの現状

3-5. (指標No. 4) 確実な通報・連絡の実施



1. 問題点	2. 改善策	3. 具体的取組み状況
●即応センターは、EAL判断時にEAL判断フローを使用しない事例があった。	①マニュアルを見直し、ERC対応ブース内の役割分担を具体的に定めるとともに、教育および訓練により認識を共有する。	●EAL判断時にはEAL判断フローを使用する旨、マニュアル改正案に記載した。
4. 確認項目	5. 現状評価	6. 今後の取組み（解決案）
ERC対応者は、EAL判断時にその判断根拠を説明するにあたってEAL判断フローを使用しているか	△ 4月23日の訓練では、EAL判断時にEAL判断フローを用いて説明できていた。ただし、マーカー等を引いて説明することができていなかった。	改めてEAL判断時にはEAL判断フローにマーカー等を引いて説明するよう周知するとともに、訓練にて習熟を図る。

(○：概ね良好、△：一部課題あり、×：要改善)

4. 今後の対応

- 個別訓練による検証のスケジュールに基づき、確実にPDCAを回しながら、改善策の有効性の検証を進める。
- 5月14日および28日には、電力会社（東北電力を予定）に模擬のERCプラント班役をお願いし、評価いただく。
 - 【調整状況】
 - ・ 国内のコロナウイルス感染状況を鑑み、ERCリエゾン（当社東京支社）の東北電力本店への派遣は取り止め。
 - ・ このため東北電力の本店に替えて、東北電力東京支社にERCプラント班役を実施いただく予定。
 - ・ ERCプラント班役の配置場所は、東北電力東京支社 or 当社東京支社。
 - ・ 訓練当日のTV会議接続は、「統合原子力防災NW」→「Webex」に変更。
- 電力会社による評価を含めた一連の個別訓練による検証結果を取りまとめ、検証結果の報告をさせていただく。（6月上旬を予定）
- 一連の個別訓練による検証により確認された課題および改善策の中長期的な取り組みは、新たに策定する2021年度以降の中期対応方針に反映し、着実に取り組みを進めていく。

(参考4) 今後の予定

1. 全体スケジュール



		2月	3月	4月	5月	6月	
面談等			4/1▼ 問題点・今後の取組み	▼面談(4/16) アクションプラン他 ▼COP提出	▽面談 報告書案他 ▽訓練報告書提出	再訓練	
全社・事業部合同訓練			4/6▼ (ERC対応連携)	▼4/23 (ERC対応・ 対策本部連携)	▼5/11 ▽5/14 (ピアレビュー)	▽5/28	
全社・事業部個別訓練	全社	1/26~3/24					
	事業部	▼2/18	▼4/2 ▼3/17▼3/31				
対策	①マニュアルを見直し、ERC対応ブース内の役割分担を具体的に定めるとともに、教育および訓練により認識を共有する。	役割見直し・周知	教育	手順見直し	改善	改善	改善
	②10条確認会議・15条認定会議の対応者とは別に、ERC統括者を選任する。	対応者選任					
	③ERCプラント班と共有する情報の優先順位について、ERC対応者と補助者との認識の共有を図る。	確認・見直し	手順見直し	改善	改善	改善	改善
	④再処理事業部対策本部において、COP・戦略シートを活用して情報共有、対策等を検討することを対策本部内で徹底する。また、COP更新の重要性をガイドラインに明記し、教育・訓練にて定着を図る。	周知・教育	ガイドライン見直し	改善	改善	改善	改善
	⑤COP、ERC備付け資料を、説明に使いやすい内容に見直す。	COP見直し・教育	改善	改善	改善	改善	改善

(参考4) 今後の予定

2. 訓練スケジュール



訓練内容	4月6日 (実績)	4月23日 (実績)	5月11日	5月14日	5月28日
訓練参加範囲	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業部対策本部 ● ERC対応ブース 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業部対策本部 ● ERC対応ブース ● 全社対策本部事務局 ● ERCリエゾン 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全社対策本部事務局 ● ERC対応ブース 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業部対策本部 ● ERC対応ブース ● 全社対策本部事務局 ● ERCリエゾン 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業部対策本部 ● ERC対応ブース ● 全社対策本部事務局 ● ERCリエゾン
事象の複雑さ	単独事象	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数事象 ● 火災・負傷者の発生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 単独事象 (初動+引継ぎ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数事象 ● 火災・負傷者の発生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数事象 ● 火災・負傷者の発生
シナリオ提示/ 非提示	提示	提示	提示	提示	非提示
評価者	社内	社内	社内	社外（電力会社）	社外（電力会社）

(参考5) ERC対応ブースにおける役割分担および情報フロー

1. 事業部連絡員到着までの役割分担(1/2)



名称	実施すべき役割
統括者（全社）	<ul style="list-style-type: none"> ・ERC対応の全体統括（ERCプラント班への説明の優先順位の判断を含む） ・全体の仕切り ・ERC対応者が本筋から外れた説明をした際の修正・フォロー ・EAL判断時の発話確認 ・10条確認会議等対応者への情報共有
10条確認会議等対応者	<ul style="list-style-type: none"> ・10条確認会議・15条認定会議対応者
ERC対応者（全社） 全社・再処理担当	<ul style="list-style-type: none"> ・メインスピーカー（全体の仕切りの補助を兼ねる） ・ERC対応補助者（全社・再処理担当）から得た以下の情報について、統合原子力防災ネットワークを用い、情報提供をする。 <p> } 発災初動時の状況説明、全施設の取りまとめ情報（火災・負傷者の情報を含む）、後方支援関係の情報、ERC質問回答など 事業部連絡員（再処理）が到着するまでの間、再処理施設・廃棄物管理施設に係る以下の情報 警戒態勢の発令、警戒事態該当事象発生連絡、警戒事態経過連絡、第1次緊急時態勢の発令、原災法第10条通報、第2次緊急時態勢の発令、原災法第15条通報、原災法第25条報告、設備の状況（COP, モニタリングポストデータ、プラントデータ等）、進展予測・事故収束対応戦略、戦略の進捗状況、ERC質問回答 </p>
ERC対応者（全社）濃埋担当	<ul style="list-style-type: none"> ・メインスピーカー ・ERC対応補助者（濃埋担当）から得た以下の情報について、統合原子力防災ネットワークを用い、情報提供をする。 <p> } 事業部連絡員（濃縮）（埋設）が到着するまでの間、加工施設・廃棄物埋設施設に係る以下の情報 警戒態勢の発令、警戒事態該当事象発生連絡、警戒事態経過連絡、第1次緊急時態勢の発令、原災法第10条通報、第2次緊急時態勢の発令、原災法第15条通報、原災法第25条報告、設備の状況（COP, モニタリングポストデータ、プラントデータ等）、進展予測・事故収束対応戦略、戦略の進捗状況、ERC質問回答 </p>
ERC対応補助者（全社） （説明補助）全社・再処理担当	<ul style="list-style-type: none"> ・COP、通報文、デヂエからの情報収集および情報整理 ・ERC対応者（全社）全社・再処理担当への情報共有（説明すべき情報のスクリーニングを含む） ・説明の補助（資料（COP、通報文、備付け資料等）へのマーカーなど） ・QA管理者から連絡を受けた質問回答を確認し、ERC対応者（全社）全社・再処理担当へ情報共有 ・サブスピーカー（メインスピーカー（ERC対応者（全社）全社・再処理担当）のフォロー）＜緊急情報の割り込みも含む＞ ・ERC対応者（全社）全社・再処理担当が不在の場合の代行者 ・ERC対応者（全社）全社・再処理担当へデヂエの情報共有 ・ERCプラントとのCOPの情報共有タイミングの判断
ERC対応補助者（全社） （説明補助）濃埋担当	<ul style="list-style-type: none"> ・上記に同じ（濃埋分の情報をERC対応者（全社）濃埋担当に共有する）

(参考5) ERC対応ブースにおける役割分担および情報フロー

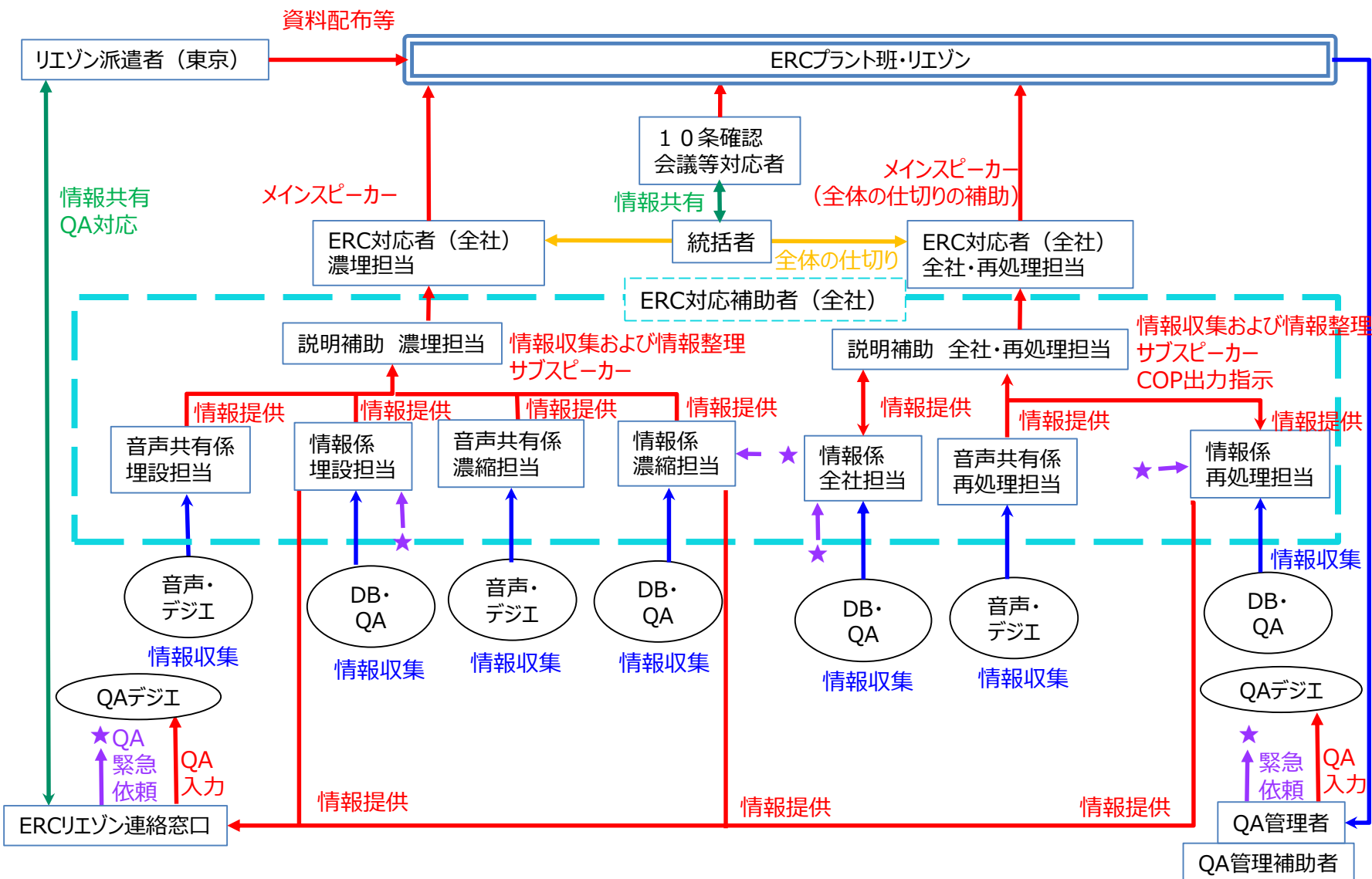
1. 事業部連絡員到着までの役割分担(2/2)



名称	実施すべき役割
ERC対応補助者（全社） （音声共有係）再処理担当	<ul style="list-style-type: none"> 各事業部の状況について音声共有システムによる情報入手および情報提供 ERC対応補助者（全社）（説明補助）全社・再処理担当へ各事業部のデジエ情報共有
ERC対応補助者（全社） （音声共有係）濃縮担当	<ul style="list-style-type: none"> 各事業部の状況について音声共有システムによる情報入手および情報提供 ERC対応補助者（全社）（説明補助）濃埋担当へ各事業部のデジエ情報共有
ERC対応補助者（全社） （音声共有係）埋設担当	<ul style="list-style-type: none"> 各事業部の状況について音声共有システムによる情報入手および情報提供 ERC対応補助者（全社）（説明補助）濃埋担当へ各事業部のデジエ情報共有
ERC対応補助者（全社） （情報係）再処理担当	<ul style="list-style-type: none"> 事業部DBからの情報（COP、プラント情報、戦略シート等）の入手、通報文の入手 ERC対応補助者（全社）（説明補助）全社・再処理担当に変更・追加点の説明 事業部対策本部との情報共有（情報連絡）（緊急性を要する質問の回答を促す等） ERCリエゾン連絡窓口への情報提供
ERC対応補助者（全社） （情報係）濃縮担当	<ul style="list-style-type: none"> 事業部DBからの情報（COP、プラント情報、戦略シート等）の入手、通報文の入手 ERC対応補助者（全社）（説明補助）濃埋担当に変更・追加点の説明 事業部対策本部との情報共有（情報連絡）（緊急性を要する質問の回答を促す等） ERCリエゾン連絡窓口への情報提供
ERC対応補助者（全社） （情報係）埋設担当	<ul style="list-style-type: none"> 事業部DBからの情報（COP、プラント情報、戦略シート等）の入手、通報文の入手 ERC対応補助者（全社）（説明補助）濃埋担当に変更・追加点の説明 事業部対策本部との情報共有（情報連絡）（緊急性を要する質問の回答を促す等） ERCリエゾン連絡窓口への情報提供
ERC対応補助者（全社） （情報係）全社担当	<ul style="list-style-type: none"> 全社対策本部取りまとめ情報のERC対応補助者（全社）（説明補助）全社・再処理担当への提供 ERC対応補助者（全社）（説明補助）に変更・追加点の説明 ERC対応ブース内の情報の全社対策本部事務局への提供 ERCリエゾン連絡窓口への情報提供
ERCリエゾン連絡窓口	<ul style="list-style-type: none"> ERC派遣者（東京）との情報連絡窓口 ERCリエゾンへの資料送付 リエゾンのQA管理
QA管理者	<ul style="list-style-type: none"> ERCプラント班からの質問事項をデジエに入力する ERC対応補助者へ質問回答を指示する 質問回答が完了後、デジエにその旨を入力する 適宜QA管理表を確認し、回答の遅い事項について、回答を促す
QA管理補助者	<ul style="list-style-type: none"> ERC QA管理者の補助 ERC QA管理者が不在の場合の代行者

(参考5) ERC対応ブースにおける役割分担および情報フロー

2. 事業部連絡員到着までの情報フロー



(参考5) ERC対応ブースにおける役割分担および情報フロー

3. 事業部連絡員到着後の役割分担(1/2)



名称	実施すべき役割
統括者（全社）	<ul style="list-style-type: none"> ・ERC対応の全体統括（ERCプラント班への説明の優先順位の判断を含む） ・全体の仕切り ・ERC対応者が本筋から外れた説明をした際の修正・フォロー ・EAL判断時の発話確認 ・10条確認会議等対応者への情報共有
10条確認会議等対応者	<ul style="list-style-type: none"> ・10条確認会議・15条認定会議対応者
ERC対応者（全社）	<ul style="list-style-type: none"> ・メインスピーカー（全体の仕切りの補助を兼ねる） ・ERC対応補助者（全社）から得た以下の情報について、統合原子力防災ネットワークを用い、情報提供をする。 全施設の取りまとめ情報（火災・負傷者の情報を含む）、後方支援関係の情報、ERC質問回答など また、各事業部の連絡員が到着しない場合は、当該施設のERC対応者の役割
ERC対応者（再処理）	<ul style="list-style-type: none"> ・メインスピーカー ・ERC対応補助者（再処理）から得た以下の情報について、統合原子力防災ネットワークを用い、情報提供をする。 警戒態勢の発令、警戒事態該当事象発生連絡、警戒事態経過連絡、第1次緊急時態勢の発令、原災法第10条通報、第2次緊急時態勢の発令、原災法第15条通報、原災法第25条報告、設備の状況（COP, モニタリングポストデータ、プラントデータ等）、進展予測・事故収束対応戦略、戦略の進捗状況、ERC質問回答
ERC対応者（濃縮）（埋設） （各1名）	<ul style="list-style-type: none"> ・メインスピーカー ・ERC対応補助者（濃縮） / （埋設）から得た情報について、ERC対応者（再処理）と同様に情報提供をする。
ERC対応補助者（全社） （説明補助）	<ul style="list-style-type: none"> ・ERC対応者（全社）への情報共有（説明すべき情報のスクリーニングを含む） ・説明の補助（資料（COP、通報文、備付け資料等）へのマーカーなど） ・QA管理者から連絡を受けた質問回答を確認し、ERC対応者（全社）へ情報共有 ・サブスピーカー（メインスピーカー（ERC対応者（全社）のフォロー）＜緊急情報の割り込みも含む＞ ・ERC対応者（全社）が不在の場合の代行者 ・ERC対応者（全社）へデヂエの情報共有 ・各事業部のERC対応補助者（説明補助）が到着しない場合は、当該施設に係る説明補助
ERC対応補助者（再処理） （説明補助）	<ul style="list-style-type: none"> ・上記に加えて、COP、通報文、デヂエからの情報収集および情報整理 ・ERCプラントとのCOPの情報共有タイミングの判断
ERC対応補助者（濃縮） （埋設）（説明補助）(各1名)	<ul style="list-style-type: none"> ・上記に同じ（濃縮、埋設分の情報を、それぞれのERC対応者に共有する）

(参考5) ERC対応ブースにおける役割分担および情報フロー

3. 事業部連絡員到着後の役割分担(2/2)

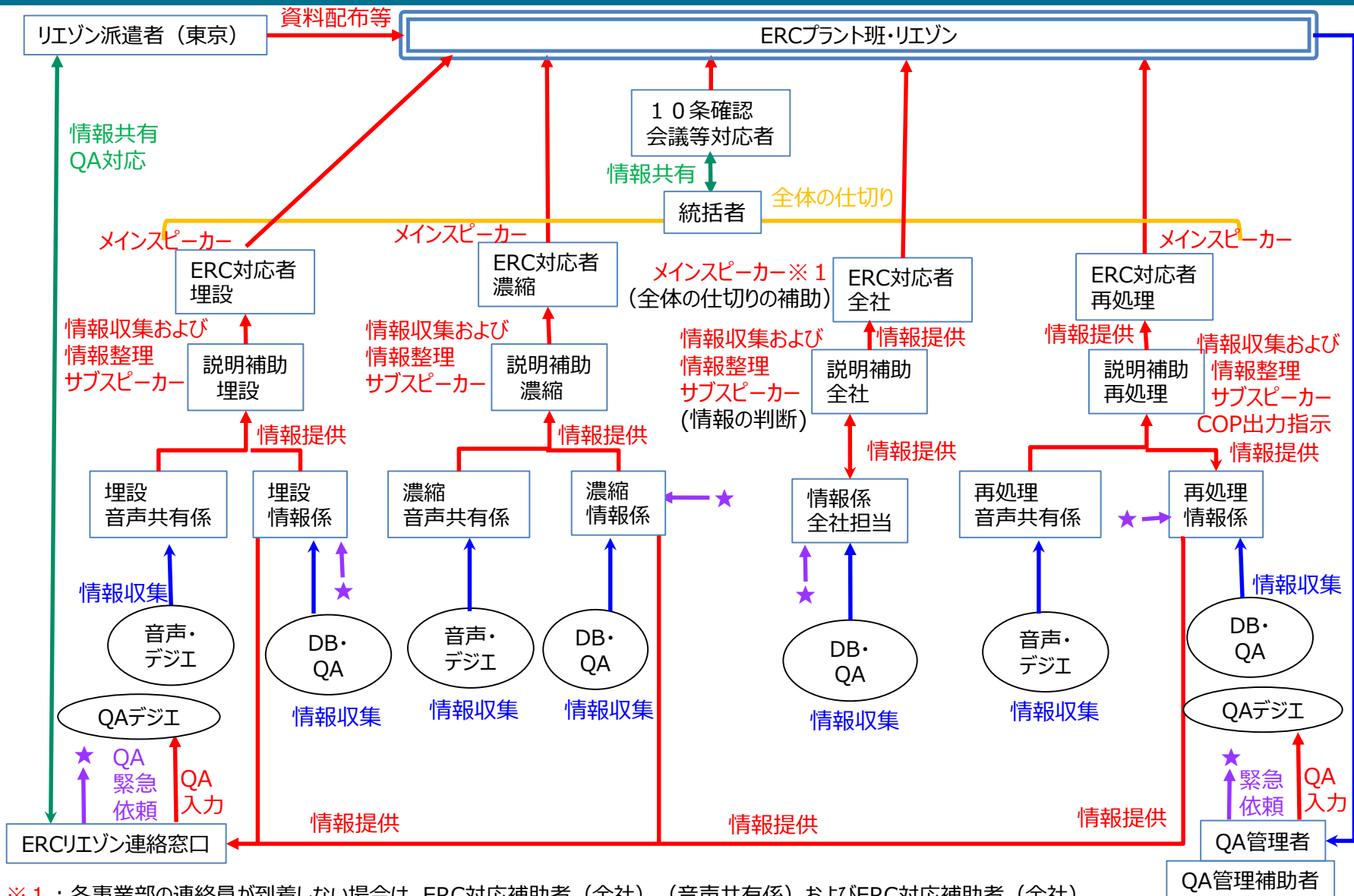


名称	実施すべき役割
ERC対応補助者（再処理） （音声共有係）	<ul style="list-style-type: none"> 各事業部の状況について音声共有システムによる情報入手および情報提供 ERC対応補助者（再処理）（説明補助）へ再処理事業部のデジエ情報共有
ERC対応補助者（濃縮） （埋設）（音声共有係）各1名	<ul style="list-style-type: none"> 上記に同じ（濃縮、埋設分の情報を、それぞれのERC対応補助者に共有する）
ERC対応補助者（全社） （情報係）全社担当	<ul style="list-style-type: none"> 全社対策本部取りまとめ情報のERC対応補助者（全社）（説明補助）全社・再処理担当への提供 ERC対応補助者（全社）（説明補助）に変更・追加点の説明 ERC対応ブース内の情報の全社対策本部事務局への提供 ERCリエゾン連絡窓口への情報提供
ERC対応補助者（再処理） （情報係）	<ul style="list-style-type: none"> 事業部DBからの情報（COP、プラント情報、戦略シート等）の入手、通報文の入手 ERC対応補助者（再処理）（説明補助）に変更・追加点の説明 事業部対策本部との情報共有（情報連絡）（緊急性を要する質問の回答を促す等） ERCリエゾン連絡窓口への情報提供
ERC対応補助者（濃縮） （埋設）（情報係）各1名	<ul style="list-style-type: none"> 上記に同じ（濃縮、埋設分の情報を、それぞれのERC対応補助者に共有する）
ERCリエゾン連絡窓口	<ul style="list-style-type: none"> ERC派遣者（東京）との情報連絡窓口 ERCリエゾンへの資料送付 リエゾンのQA管理
QA管理者	<ul style="list-style-type: none"> ERCプラント班からの質問事項をデジエに入力する ERC対応補助者へ質問回答を指示する 質問回答が完了後、デジエにその旨を入力する 適宜QA管理表を確認し、回答の遅い事項について、回答を促す
QA管理補助者	<ul style="list-style-type: none"> ERC QA管理者の補助 ERC QA管理者が不在の場合の代行者

※：各事業部の連絡員が到着しない場合は、ERC対応補助者（全社）（音声共有係）およびERC対応補助者（全社）（情報係）が、引き続き各事業部の情報入手および情報提供を行う。

(参考5) ERC対応ブースにおける役割分担および情報フロー

4. 事業部連絡員到着後の情報フロー



※ 1 : 各事業部の連絡員が到着しない場合は、ERC対応補助者 (全社) (音声共有係) およびERC対応補助者 (全社) (情報係) が、引き続き各事業部の情報入手および情報提供を行う。